

学校教育目標

夢をもち、ふるさとを愛し、自ら学び未来を切り拓くの育成
「かがやく えがお」

各クラス1学期末評価問題→学年末評価問題「知識及び技能」「思考力・表現力・判断力」それぞれで平均点5点アップを目指す
来年度学力テストで、4～6年それぞれ県平均との差+5 p tを目指す

自ら学ぶを楽しむ子どもの育成

学びスタイル

- 子どもの学びスタイル
 - 全員発表（既習事項の振り返り・話型）
 - 全員反応（うなずき・ハンドサイン）
- 教師の学びスタイル
 - 子どもの発言の確保
 - 3つの発問（繰り返し、問い返し、切り返し）

必然性や必要感を伴う対話

- 子どもが主体的な想いをもって、考えを交流し、考えを広げたり深めたりする場を仕組む授業づくり

ICTの推進

- GIGA スクール構想

スキルタイム（14：05～14：20）

- 月曜日・木曜日
- キュビナの活用による学力の向上

小島小学校ユニバーサルデザイン

①教室環境（学習環境）を整える

- 筆箱→箱形の推進。（生活指導とも関連させる）
- 教室前面掲示を意識的にすっきりさせる。（前面には、きまりごとや学習の流れのみを掲示する。学級目標等は側面に。）
- 座席を整える。（例：テープやマジックでマークする。）
- 「グー・ペタ・ピン」の徹底。（グーは机との間隔、ペタは足の裏を床にしっかりとつける、ピンは背筋を伸ばす。）
- 分離礼の徹底。（児童と教師の礼を分離する。）
- 時間を守る。（時間前着席、学習用具を準備して5分休みを。）

②教材・教具の工夫

- ICTの活用。（クロームブック・書画カメラ、写真、タブレット、動画、タイマー等）
- ヒントを準備する。（ヒントカードや、話型カードなど手本を示すもの）→指示やワークシートでもよい。
- チョークの色の統一。（大事な文字は黄色、大事なところを囲むのも黄色。学習の時は、白色と黄色のみ使用する。）

③見通しがもてる授業の構成

- 「めあて・まとめ」が子どもに届く授業。
- 学習の流れを視覚的に示す。（単元、1時間）
- 学び合い活動の充実。（ホワイトボード・ICT機器の活用）
- 授業スタイルの統一

④シンプルで分かりやすいノート作り

- 日付、単元名をどの教科でも記入する。
- 見開き1ページ 板書とノートの一体化。
- 囲み線などは定規で引く。
- 大事なところ（チョークの黄色）はすべて赤鉛筆（赤ペン）で記入する。

